

薬学部薬学科 カリキュラム・マップ

- 実務実習を通して、フロンティア精神 DP1 DP3
- 2.国際性の涵養 DP4
- 3.全人教育 DP1 DP4
- 4.実学の重視 DP2 DP3

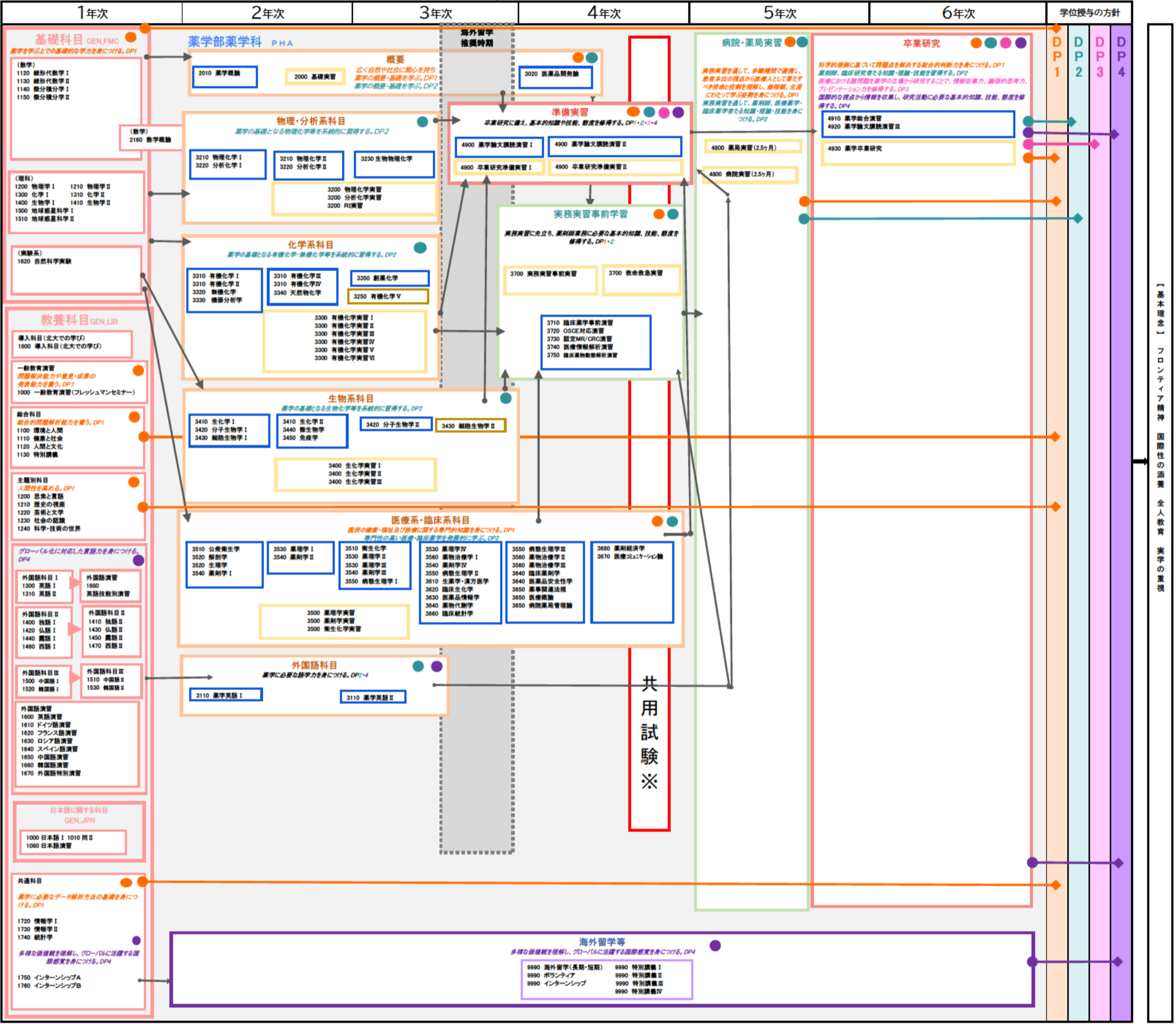
北海道大学薬学部の学生は、本学の基本理念である「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、社会変化や予測困難な出来事に柔軟に対応し、生涯にわたり活躍できる薬剤師の素養を身につけることを目標とします。北海道大学薬学部は下記の能力を獲得し、所定の単位を修得した学生に学士の学位を授与します。

【豊かな教養と高い倫理観】
 DP1 国民の健康・福祉及び医療に関する専門的知識のみならず、広く自然や社会に関心を持つことで豊かな教養を備えるとともに、多職種間で連携し、患者本位の視点から医療人として果たすべき使命と役割の理解につながる総合的判断力、倫理観、生涯にわたって学ぶ姿勢を備えている。

【専門的な知識・技術・技能】
 DP2 薬学の基礎となる物理化学、有機化学、生物化学を系統的に修得し、さらに専門性の高い創薬科学、医療・臨床薬学を発展的に学ぶことで、薬剤師、医療薬学・臨床薬学者たる知識・理論・技能を身につけている。

【高い研究能力】
 DP3 国民の健康・福祉及び医療における諸問題を薬学の立場から研究し、その成果を医療の現場に還元するため、情報収集力、論理的思考力、プレゼンテーション力を身につけている。

【国際的な視点】
 DP4 国際的な薬学の動向を把握し、医療・薬学領域のみならず、社会生活に求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した言語力を身につけている。



「基本理念」 フロンティア精神 国際性の涵養 全人教育 実学の重視

- 全学教育科目**
- 授業・演習
 - 実務実習関連
 - 卒業研究
 - その他の科目
 - 共用試験
- 専門科目**
- 専門科目授業及び演習 (必修)
 - 専門科目のうち実験等を含む実習科目 (必修)
 - 専門科目授業 (選択)
 - 選択・卒業要件には含まれない科目

※共用試験について(病院・薬局実習履修前に実施)

共用試験とは実務実習開始前に全国の薬科大学・大学薬学部の学生を対象に行われる評価試験です。共用試験はコンピューターを用いた知識・問題解決能力を評価する試験(Computer based test, CBT)と態度・技術の評価する客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination, OSCE)から構成されています。CBT、OSCEとも既に公開されている「薬学教育モデル・コア・カリキュラム:教育内容ガイドライン」に準拠して行われます。